

第5学年 総合的な学習の時間（ウミネコ学習）学習指導案

日 時 平成16年10月15日（金）6校時

児 童 5年1組 男19名 女16名 計35名

指導者 木村 伸也

場 所 5年1組教室

1 単元名 残そう！船越の漁業

2 単元について

(1) 単元設定の理由

船越小学校は、周りを海や山に囲まれた自然豊かな環境の中にある。子どもたちは、この恵まれた自然環境の中で伸び伸びと過ごしている。この恵まれた環境ではあるが身近すぎて気づかなかつたり、意外に触れていなかったりする児童が多い。周りの豊かな自然を本当に実感して生活しているとはいえない。1学期には、社会科において日本の水産業について学習した。しかし、船越の漁業について実際に働く人々の様子を見たり、漁業を体験したりしている子は少ない。ましてや、船越の海の恵み・豊かさを実感し、さらには年々落ち込む水揚げ高や後継者不足による高齢化など、船越の漁業の現状や問題点に目を向けている子はほとんどいない。

そこで、船越の漁業について調べ活動を行い、船越の漁業の問題点に気づかせ、その問題点を解決するためにできることはないかを追求させていく。このような活動を通して、船越の海の豊かさに触れさせるとともに、自分たちの住んでいる船越のすばらしさに気づかせ、地域を愛する心を育てていきたいと考え本単元を設定した。

(2) 児童の実態

子どもたちは、低学年のときからウミネコ学習（生活科・総合的な学習の時間）を通して、磯の生物を採集して飼育観察したり、磯探検で疑問に思ったことをテーマ別にグループで調べたりする活動を経験してきた。3年生では海の生き物調べ、4年生では海藻調べ、そして、5年生の1学期には、「残そう！船越の自然」という単元で、船越の山の自然に触れ合う活動を行ってきた。その中で生き物を採集・観察したり、友達と協力して調べたり、地域の人々にインタビューしたりしながらそれぞれの自分の課題を追求し、自然を残すためにはどうすればよいかについて自分なりにまとめることができた。

このような活動を通して体験的な活動に意欲的に取り組み、地域の人々と触れ合うことができるようになってきている。また、調べ活動にも意欲的に取り組むようになってきている。

しかし、自己の課題を適切に設定する力や追求方法や内容を見直す力、新たな課題を見つけ出す力については十分身に付いているとはいえない。

(3) 活動の構想

単元全体を通して、課題意識・意欲を継続させるために毎時間自己評価させる。相互評価も取り入れることでお互いを認め合ったり、高め合ったりするだけでなく、課題追求の方向性を修正することができるようにしていきたい。また、各段階における『振り返りの時間』を有効に活用し、自分たちの活動や成長を振り返りながら、次段階への活動の意欲や自信を持たせるようにしていきたい。

「つかむ」の段階では、海のパトロール、船越魚市場の見学を通して船越の漁業に目を向けさせ課題を設定させていきたい。「つかむ」の段階の振り返りでは、グループの活動計画を自己評価したり、お互いに意見交換したりする。必要に応じて修正を加えることで自信を持って次の「追求する」の段階に進むことができると考える。

「追求する」の段階では、船越の漁業の実態を調べる活動と自分たちにできることを考える活動の二段階に分けて行う。調べる活動は、漁業協同組合や鯨と海の科学館、地域の方々へのインタビュー活動を積極的に行わせてコミュニケーション能力を伸ばしながら問題解決能力を伸ばしていきたい。中間発表後に、調べたことから船越の漁業の課題を見つけ、船越の漁業を盛んにしていくために自分たちができることを自由な発想で考えさせたい。「追求する」の段階の振り返りは、中間発表後に行い、グループで自己評価したり、中間発表の資料を見合いながらお互いに意見交換したりする中で漁業の新たな課題を見つけさせたい。

「表す・広げる」の段階では、調べたことをこれまでお世話になった漁業協同組合や地域の方々をお招きしての発表会で提案することとしたい。そのために効果的な表現方法を考えさせ、発表会の準備をしていく。単元全体を通しての振り返りでは、自分たちが調べたことや考えたことをもう一度整理し直し、船越をよりよくするために自分ができることを実践したり、考えたりしていくことを確認する。このような活動を通して船越の良さに気づき、船越に愛着を持つ心情を育てたい。さらには、地域の一員として、自分がどう生きていけばよいのかを深く考えるきっかけになるものとする。また、自分のがんばりや変容について振り返り、さらに、友達のがんばりや変容にも気づかせていきたい。この学習を通して1学期の社会で学習した『水産業』をより身近に感じ、理解を深めることができると考える。インタビュー活動や話し合い活動を進めるには国語の『話す・聞く』で培った力を活用していくよう指導する。

3 単元目標

【関心・意欲・態度】

- ・ 船越の漁業について関心を持ち、活動に進んで取り組もうとする。

【思考・判断】

- ・ 船越の漁業を盛んにする方法を考えることができる。

【技能・表現】

- ・ 課題追求のため適切な方法を選択し、調べた内容を相手に伝えるようにまとめ、発表を工夫することができる。

【知識・理解】

- ・ 船越の漁業のよさや問題点について理解することができる。

4 単元の指導計画 (37時間)

段階	活動内容	教師の支援	評価規準(評価方法) 【関】 関心・意欲・態度 【思】 思考・判断 【技】 技能・表現 【知】 知識・理解	身につけたい力 (船小6力)
つかむ (7)	<p>1 オリエンテーション2 ・船越魚市場の見学。 ・船越魚市場のVTRを見る。 《全体課題》 船越の漁業について調べよう。 そして、自分たちにできることを考えよう。</p> <p>2 個人課題を設定し計画を立てる。...4 ・漁業について自分が調べたいことを見つける。 ・グループをつくり、調べる計画を立てる。</p> <p>3 振り返り...1 ・どのように調べるか見通しを持つ。</p>	<p>・船越魚市場のVTRを見せたり、魚の名前あてクイズをしたりして興味関心を持たせる。</p> <p>・ウェブング法を用い、漁業に対するイメージをふくらませる。</p> <p>・全グループの計画を事前に掲示しておく。交流しやすいようにいくつかのグループを集める。</p>	<p>【関】 船越の漁業に関心を持つ。(観察・カード)</p> <p>【関】 自分の考えを持って課題を設定できる。(カード)</p> <p>【思】 課題解決に向けて、活動計画を立てることができる。(カード)</p> <p>【思】 自分の取り組みを振り返り、友だちのがんばりを認めることができる。(見取り、カード)</p>	<p>課題設定能力</p> <p>思考・評価力</p>
追求する (20)	<p>4 グループごとに調べる。.....10 ・事前指導 (2) ・調べ活動をする。(8)</p> <p>5 振り返り.....2 ・中間発表を行う。(1) ・中間発表を振り返り課題を見つける。 (1)《本時》</p> <p>6 グループ毎に調べる。8 ・事前指導(1) ・課題を追求する。(5) ・自分たちができることを考える。(2)</p>	<p>・スムーズに調べ活動を行えるようにインタビューの仕方や調べ方等の事前指導を行う。</p> <p>・調べて分かったことを毎時間書かせ、調べた内容が目で見られるようにさせる。</p> <p>・調べたことを交流しやすいようにいくつかのグループを集め、交流し合う中で漁業の課題を見つけさせる。</p> <p>・各グループが調べたことを掲示し、それぞれのがんばりが見えるようにする。</p>	<p>【関】 学習計画に沿って、解決に向けてねばり強く取り組みようとする。(カード)</p> <p>【技】 情報を収集するために適切な方法を用いることができる。(カード)</p> <p>【知】 課題解決に取り組むことから、よさや問題点を挙げるができる。(カード)</p> <p>【思】 自他の取り組みを振り返り、がんばりを認め合うことができる。(見取り、カード)</p>	<p>問題解決能力</p> <p>総合された知識</p> <p>思考・評価力</p>
表す・広げる (10)	<p>7 グループ毎に追求したことをまとめる。8 ・まとめる。(3) ・発表の練習をする。(1) ・発表しあう。(2) ・振り返る。(1) ・地域の方を招いて発表会を行う。(1)</p> <p>8 単元全体を振り返る。2</p>	<p>・これまで行った表現方法を想起させ、その他にいくつか提示し選択させる。</p> <p>・友だちの発表のよさを交流し合い発表会へ自信を持って望ませる。</p> <p>・視点を与え、自分や友だちの成長を振り返ることができるようにする。</p>	<p>【技】 効果的な表現方法を選択することができる。(カード)</p> <p>【技】 収集した情報を整理し、わかりやすく伝え合うことができる。(カード)</p> <p>【思】 学んだことや身につけた力を、自分の成長ととらえたり、友だちの努力を認めたりすることができる。(カード)</p>	<p>表現・創造力</p> <p>自信・成長力</p>

5 本時の指導

(1) 目標

【思考・判断】

- ・ これまで収集した資料をもとに振り返り、漁業の問題点から新たなテーマを設定することができる。

(2) 展開

段階	活動内容	教師の支援と評価	備考
つかむ (5)	1 前時までの学習活動を振り返る。 2 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 漁業の問題点を見つけ、新たなテーマをつくろう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の中間発表を想起させる。 ・ 今まで調べたことから船越の漁業の問題点を見つけ、新たな課題を設定することを伝える。 	振り返りカード
追求する (30)	3 グループ毎に資料を整理する。 4 他のグループと分かったことやもっと調べたいことを交流し合う。 5 交流し合ったことから、グループ毎に新たなテーマを設定する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各グループ毎に問題点を解決するようなテーマを設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の中間発表までの資料をそろえ、調べる活動の中で気づいた漁業の問題点を想起させる。 ・ 意見を交流しやすいように3グループ程度の中で交流させる。 ・ 中間発表の資料を見ながら交流させる。 ・ 交流し合う中で漁業の問題点を見つけさせる。 ・ 机間指導を通し、状況把握と助言を行う。 <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>A: 漁業の問題点からテーマを設定し、調査活動への見通しを持つことができる。</p> <p>B: 漁業の問題点を見つけ出し、解決のためのテーマを設定することができる。</p> <p>※ グループの友だちのプリントを参考に考えさせる。 他グループの意見を参考にさせる。</p> </div>	収集した資料 学習ガード
まとめる (10)	6 活動を振り返り、まとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の活動で自分の考えが変わったり、深まったりしたことやこれから学習していきたいことなどをカードに書く。 7 次時の予告をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 今日の課題をもとに、追求活動を行うことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の変容に気づかせるために、記述する際の観点を示したり、これまでの振り返りカードを見させたりする。 	振り返りカード

(3) 評価

【思考・判断】

- ・ これまで収集した資料をもとに振り返り、漁業の問題点から新たなテーマを設定することができたか。